

全ての子どもたちが大切にされ、誰一人取り残されない
Make Your Move 行動しよう
「1人の10歩より、みんなの1歩」



1

全ての子どもたちが大切にされるために
(教職員・児童生徒の意識改革に関わる内容)

- ☐ 子どもたち一人ひとりが人として尊重されています。
- ☐ 学校では、多様な児童生徒が在籍していることを教職員、児童生徒が理解しています。
- ☐ 子どもたちの悩みや困りごとの相談は、真剣に受け止められています。
- ☐ 子どもたちの良さを積極的に認め、伝えています。
 - そのため、苦手なことがある子どもの努力が評価される機会が用意されています。
 - 「いいね」だけでなく、「〇を工夫しているね。」等、学びの過程を認めています。



2

全ての子どもたちの学びの環境を充実させるために
(UD・UDLの視点から児童生徒の学びの環境に対する指標)

- ☐ UD・UDLの視点で環境を整え、授業づくりに努めています。
 - 口頭による指示だけでなく、ICT機器等を効果的に活用し、視覚的な手がかり（映像・図）を提示しています。
 - 学習の流れを目に見える形で提示（見える化）しています。
- ☐ 全ての子どもたちの「やりたい」「必要」を活かした単元構想になっています。
- ☐ 全ての子どもたちが「気付く」「考える」「表現する」活動を確保しています。
 - 単に「考えましょう」「話し合いましょう」「発表しましょう」と伝えるだけではありません。「何のために」「どのように」活動するのかを明らかにしています。
 - 子どもたちの主体的な学びの実現につながるよう、一人ひとりに応じた工夫と手立てを行っています。
- ☐ 全ての子どもたちが、ともに高め合う協働的な学びを大切にしています。
 - 異なる考え方を尊重し、安心して自由に発言できる環境づくりを行っています。
- ☐ 自分の学びを振り返る活動を大切にしています。
 - 気付きや考えの変化に着目させるなど、振り返りの視点を明らかにしています。

3

全ての子どもたちの充実した生活のために
(多様で柔軟な学びの場の選択につながる
アセスメントと校内支援体制の強化)

- ☐ アセスメント票、個別の教育支援計画、個別の指導計画等、客観的な資料に基づいて、支援についてケース会議を行い、定期的に見直し、改訂をしています。
- ☐ 一人ひとりの状態や教育的ニーズ等に応じ、本人・保護者と学校との合意形成のうえ、合理的配慮や多様な支援のリソースを提供しています。
- ☐ 研修を計画的に行い、全ての教職員が学びのブラッシュアップをしています。
- ☐ 保護者や専門機関など、学校外との連携を大切にしています。